

施策評価シート (平成31年度の振り返り、総括)

作成日 令和2年 06月 22日

施策 No.	12	施策名	文化芸術の振興
主管課名	文化課	電話番号	0285-83-7732
関係課名			

施策の対象	市民								
対象指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	31年度見込
人口	人	80,929	80,698	80,590	79,422	79,542	79,414	79,324	80,200

施策の意図	市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を拡充するとともに、文化芸術施設の整備充実に努め、文化芸術のかおり高いまちづくりを進める。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の鑑賞、発表、学習機会の提供については、市民会館利用人数、市民会館自主事業数、久保講堂利用人数を指標とする。 文化団体支援については、文化協会加入団体数、文化協会会員数を指標とする。 市民の文化芸術活動への参加については、文化芸術活動に参加した市民の割合、文化芸術に興味・関心がある市民の割合を指標とする。 真岡の文化芸術の市内外への発信については、美術品展示館入場者数、久保資料室入場者数を指標とする。 								
成果指標名	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	31年度基本計画目標値
文化芸術活動に参加した市民の割合	%	15.1	13.5	15.3	15.7	16.1	14.9	14.2	25.0
文化芸術に興味・関心がある市民の割合	%	62.9	64.6	64.2	62.9	62.3	61.7	63.2	75.0
市民会館利用人数	人	41,106	70,283	98,767	105,970	88,061	89,068	75,219	101,000
市民会館自主事業数	件	3	6	5	7	8	6	8	12
久保講堂利用人数	人	17,106	25,733	23,643	24,272	20,883	24,752	17,018	18,000
文化協会加入団体数	団体	155	150	147	141	137	131	125	160
文化協会会員数	人	2,426	2,411	2,338	2,129	2,127	2,130	2,045	2,500
美術品展示館入館者数	人	—	16,232	23,527	18,715	16,555	16,553	14,582	5,200
久保資料室入館者数	人	—	12,597	18,731	16,076	17,224	17,138	15,673	5,200

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>市民は、自ら積極的に、文化芸術に興味を持ち活動する。</p> <p>行政は、文化芸術活動の企画運営と環境整備を行う。また、文化活動を担う人材や文化団体の育成支援を行う。</p>								
-------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（１）施策結果の時系列比較（過去３年間の比較）

市民会館は、東日本大震災で被災したため、再整備工事を行い、平成２６年７月にリニューアルオープンした。市民会館の利用人数は、平成２９年度が８８，０６１人、平成３０年度が８９，０６８人、令和元年度が７５，２１９人と前年度より１３，８４９人減少した。令和元年度、後半には新型コロナウイルスの感染拡大があり、市民会館については、２月下旬からキャンセルが相次ぎ、３月１３日から３月３１日まで貸館を中止した。

久保講堂の利用者数は、２万人台で推移していたが、令和元年度は１７，０１８人と大きく減少した。

歴史的建造物である久保邸を保存活用するため、久保記念観光文化交流館を平成２４年～平成２６年にかけて整備し、平成２６年１０月に開館した。

市民意向調査では、文化芸術活動に参加した市民の割合は、平成２９年度が１６．１％、平成３０年度が１４．９％、令和元年度が１４．２％で前年度より０．７ポイント低下した。

また、文化芸術に興味・関心がある市民の割合は平成２９年度は６２．３％、平成３０年度は６１．７％、令和元年度が６３．２％で前年度より１．５ポイント上昇した。

（２）近隣他市との比較

市民会館のある市町は、県内２５市町のうち、１７市町となっている。

また文化協会の会員数は、令和元年度は真岡市の２，０４５人に対し、足利市２，５６４人、佐野市１，４３６人、小山市１，７８９人、下野市９８０人であった。人口に対する会員数の割合は、各市と比較してやや高い水準となっている。

（令和元年度）【Ａ会員数】 【Ｂ人口】 【人口に対する会員数の割合（ $A \div B$ ）】

真岡市	２，０４５	７９，３２４	２．５８％
足利市	２，５６４	１４５，２２１	１．７７％
佐野市	１，４３６	１１６，０６７	１．２４％
小山市	１，７８９	１６７，５４８	１．０７％
下野市	９８０	６０，０８１	１．６３％

（３）住民期待水準との比較

市民意向調査での今後のまちづくりに力を入れてほしい施策で「文化芸術、スポーツの振興」の割合は、平成２９年度は１２．１％、平成３０年度は１２．３％、令和元年度は１３．１％で前年度より０．８ポイント上昇した。

31年度の
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶ機会を拡充するために以下の取り組みを実施した。

- ・市民会館では、市主催各種自主事業を8回、映画会を5回実施した。
- ・久保講堂では、真岡市文化祭、芳賀教育美術展、雛飾り、盆栽展等12団体で150日の利用があった。
- ・音楽祭では、小学校から一般の音楽団体の19団体679人の参加があり、特別演奏として「上野の森プラス」を鑑賞し、観客数は727人であった。
- ・移動音楽鑑賞教室では、優れた音楽や演劇を直接鑑賞する機会を提供し、芸術に触れる喜びを体験させるため、市内中学校2年生対象に「オペラってなぁに？混声四重唱と遊ぼう！」を実施し、820人の参加があった。
- ・文化協会については、文化団体の連絡・交流・連携のもと、各種発表会、研修会、展示会を開催した。
- ・文化祭では、市民の文化芸術の発表の場として13部門で26日間開催し、応募数は1,406点であった。
- ・市美術展では、「我が家の秘蔵展－絵画と酒器」を企画開催し、入場者数は214人であった。
- ・市民芸術鑑賞（美術館めぐり）では、市民の美術鑑賞の機会を設け、本物の美術品に触れることで美術に対する理解を深めるため、諸橋近代美術館、さくら市ミュージアムの企画展を鑑賞し、参加者数は52人であった。
- ・芳賀地方芸術祭では、芸術の普及奨励と郡市民の文化生活の向上を図るため、郡内各地で開催され、出品点数は11,164点あり、そのうち真岡市民の出品点数は5,614点であった。
- ・子ども未来育成事業の指導者派遣事業では、吹奏楽に係る指導者・生徒のスキルアップを目的に、小中学校に吹奏楽の指導者を99回派遣した。
- ・クラシック音楽鑑賞教室では、クラシック音楽の聴きどころや作曲家、作品の紹介などをわかりやすく案内し、広く市民が音楽文化に親しむ環境の充実を図るため、教室を2回開催し、参加者数は276人であった。
- ・久保記念観光文化交流館美術館展示館は14,582人、久保資料室については15,673人の来場者があり、美術館展示館では、久保コレクションを中心に年4回のペースで企画展を開催した。作品展示のほかワークショップや作家を招聘した講演会を実施した。久保資料室では、久保貞次郎氏の功績や人柄をよりわかりやすく伝えるため展示物品の入替を図った。
- ・まちかど美術館は、市所蔵美術品や芸術愛好家、市民が創作した作品を展示し、文化芸術の振興と市民相互の交流を図るとともに、市街地を周遊し、文化芸術に親しむことができる観光拠点として、平成29年6月に開館した。常設展示室での4回の企画展と、市民ギャラリーの5団体の利用を合わせて、1,928人の来館者があった。
- ・市民会館について、より効果的かつ効率的な管理運営を図ることを目的に、指定管理者制度の導入について、令和元年に指定管理者選定等委員会で協議した結果、選定方法は公募とし、指定期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間として導入を進めた。

31年度の
評価結果

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

(1) 市民会館については、令和2年度から指定管理者による管理運営となるが、市民にとって、より魅力のある各種自主事業や映画会等が計画されるよう連携を図るとともに、舞台芸術の振興に努め、多くの民間イベントや発表会に利用されるよう努めていく。

(2) 久保講堂については、市の貴重な文化財として保存に努めるとともに、市民の文化活動の発表の場として積極的に活用する。

(3) 文化協会については、価値観の多様化や高齢化の進展により団体数会員数の減少が続いているのが大きな課題である。文化協会の活動を多くの人に知ってもらい、もっと活動の幅を広げていけるようなシステムの構築が重要である。

(4) 久保記念観光文化交流館美術品展示館、久保資料室については、今後さらに来場者をいかに増やしていけるかが課題である。魅力ある企画展の開催や展示物品の入替を行う。

(5) まちかど美術館については、美術館として魅力的な企画展を行い、来場者を増やすだけでなく、訪れた人が市内の施設を回遊できるよう、久保記念観光文化交流館等の施設と連携を進める。

31年度の
評価結果

補足事項

令和元年度市民会館利用状況

1、稼働率

・大ホール 利用日数(178日) ÷ 利用可能日数(248日) = 71.8%
・小ホール 利用日数(217日) ÷ 利用可能日数(252日) = 86.1%

2、利用内容ごとの件数及び利用者

・大ホール	音楽(練習含む)	105件	25,352人
	演劇(練習含む)	10件	2,360人
	民舞吟	10件	1,840人
	式典・大会・講演会等	44件	15,339人
	映画上映	9件	4,881人
	発表会・その他	16件	5,453人
	合計	194件	55,225人
・小ホール	音楽(練習含む)	228件	11,428人
	演劇(練習含む)	3件	40人
	民舞吟	6件	558人
	式典・大会・講演会等	54件	5,983人
	映画上映	2件	548人
	発表会・その他	22件	1,437人
	合計	315件	19,994人